

**【使用目的】**

血清中の SCCA2 の測定

(15 歳以下の小児におけるアトピー性皮膚炎の重症度評価の補助)

**【測定方法】**

ELI SA 法(酵素免疫測定法)

**【検 体】**

血清

**【有用性】**

本品の臨床性能試験において、0～15 歳のアトピー性皮膚炎患者 176 例およびアレルギー非罹患患者 159 例において血清 SCCA2 値を測定した<sup>1)</sup>。その結果、血清 SCCA2 値は鋭敏にアトピー性皮膚炎の重症度を反映した。また、アレルギー非罹患患者との ROC 解析においても AUC 値は 0.929 と良好であり、基準値を 1.6 ng/mL と設定した時の感度・特異度はそれぞれ 80%・95% であった。治療経過症例 (n = 31) においては、経過とともに血清 SCCA2 値も低下し、重症度スコア (O- SCORAD) の変動と有意に相関した。血清 SCCA2 値は、「アトピー性皮膚炎診療ガイドライン 2018」においても“重症度の参考になるバイオマーカー”として記載されている。

**【説 明】**

SCCA (squamous cell carcinoma antigen) は、serpin スーパーファミリーに属するセリンプロテアーゼインヒビターであり、主に上皮細胞から産生される分子量約 45 kDa の蛋白質である。SCCA には SCCA1 (SERPIN B3) と SCCA2 (SERPIN B4) というアイソフォームが存在し、アミノ酸レベルでの相同性は 91% である。SCCA2 は、アレルギー反応において中心的に働くサイトカインである IL-4 および IL-13 で気道上皮細胞を刺激した際に発現が上昇する分子の一つである<sup>2)</sup>。小児アトピー性皮膚炎患者における血清 SCCA2 値は、その重症度に応じて有意に上昇していることが報告されている<sup>3)4)</sup>。アトピー性皮膚炎の治療においては、その重症度に応じて抗炎症薬を適切に選択・使用することが重要であり、血清 SCCA2 は、小児アトピー性皮膚炎の重症度の指標として有用なマーカーとなり得ることが示唆されている。

**【留意事項】**

15 歳以下の小児におけるアトピー性皮膚炎の重症度評価を行うことを目的として、ELI SA 法により血清中の SCCA2 量を測定する場合に月 1 回を限度として算定できる。ただし、本検査及び区分番号「D015」血漿蛋白免疫学的検査の「18」TARC を同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。

**【参考文献】**

- 1) Nagao M, Inagaki S, Kawano T, et al. SCCA2 is a reliable biomarker for evaluating pediatric atopic dermatitis. J Allergy Clin Immunol 2018; 141 (5): 1934-6.

令和 3 年 2 月より保険適用

**D014 自己抗体検査 区分 E3 (新規項目)**  
**SCCA2**

**【保険点数】**

300 点

**【製品名(製造販売元)】**

イムキュア SCCA2 (株式会社シノテスト)

- 2) Yuyama N, Davies DE, Akaiwa M, et al. Analysis of novel disease-related genes in bronchial asthma. *Cytokine* 2002; 19 (6): 287-96.
- 3) Ohta S, Shibata R, Nakao Y, et al. The usefulness of combined measurements of squamous cell carcinoma antigens 1 and 2 in diagnosing atopic dermatitis. *Ann Clin Biochem* 2012; 49 (Pt 3): 277-84.
- 4) 藤澤隆夫. 小児アトピー性皮膚炎のバイオマーカー: TARC, そして新しい SCCA2 を中心に. *アレルギー* 2018; 67 (8): 981-6.

**【製品関連 URL】**

<https://www.shino-test.co.jp/product/sca2/>

(文責：株式会社シノテスト、  
監修：日本臨床検査医学会保険点数委員会)